

寺子屋塾 多世代交流に一役



学生スタッフが子どもたちの宿題をお手伝い。多い日で子どもは40人以上が集まるといふ＝加古川市平岡町新在家、兵庫大

平岡町に3カ所

加古川

学校が休みの土曜に公民館などで子どもたちの学習をサポートする「ひらおか寺子屋塾」がスタートして1年が経過した。子どもの学習意欲を高めるだけでなく、ボランティアとして参加する学生や地域の高齢者も含め、世代間交流にも一役。加古川市の平岡地域にしっかりと根を下ろしている。

(見玉美友)

児童や学生、シニアでにぎわい

宿題に遊びも、地域に根を下ろす

ひらおか寺子屋塾は、昨年6月に平岡公民館(同市平岡町土山)に開校。平岡町の町内会連合会員でつくる「平岡町を良くする会」が主催し、月2回小学生が集まり、ボランティアと一緒に宿題や遊びをしながら過ごしている。

寺子屋塾は昨年11月に兵庫大(平岡町新在家)、今年6月には新たに、かこてらす(平岡町一色)でも開かれ、平岡東、平岡北、平岡南小の計三つの小学校区に広がった。

参加する児童は宿題を持ち込む。教科書やドリルを広げると、兵庫大の学生ボランティアや、元教員らが指導員として子どもたちの学習をサポート。同大学の講師も参加し、一緒に実験やゲームも行う。

宿題を終えると、次は遊びの時間。学年に関係なく子どもたちが提案し、ボードゲームや鬼ごっこで遊ぶ。子どもたちからは「学校では会えない年上の人と遊べてうれしい」などと声上がり、リピーターも多いという。

山本瀧湖塾長(46)は「子どもから高齢者までが関わり、世代を超えた交流につながっている。子どもたちの居場所を地域で支える基盤づくりをしていきたい」と話している。

参加無料。第1、3土曜は平岡公民館とかこてらす。第2、4土曜は兵庫大。午前9時～正午。問い合わせはメールアドレスhymmt@carol.ocn.ne.jp